

石狩浜海浜植物保護センター調査研究報告第 11 号

石狩川河口右岸地区におけるイソスミレの探索結果

2022 年 3 月

石狩浜海浜植物保護センター

石狩川河口右岸地区におけるイソスミレの探索結果

内藤 華子（合同会社いしかり植物ラボ）・高橋 恵美（石狩浜海浜植物保護センター）

はじめに

イソスミレ (*Viola grayi*) は、石狩川河口左岸が北限の自生地とされている(五十嵐, 2008, 内藤・寒河江, 2014)。しかし、石狩川河口右岸にも左岸と同様な海岸砂丘植生が続いている(石狩町, 1976, 石狩町, 1989, 石狩浜海浜植物保護センター, 2009, いしかり海辺ファンクラブ, 2015)。また時折、市民の植物愛好者からは、右岸での目撃情報も耳にする。そこで、右岸地域の生育状況を把握する目的で踏査を行った。

調査方法

株の発見が容易な開花時期にあたる2018年5月9日と5月18日、石狩川河口右岸の海岸砂丘植生地のテンキグサ-コウボウムギ群落からハマナス-ススキ群落を、合計約18haを、延べ25名で踏査した(図1)。

踏査は、5m程度の間隔で調査者が一列に並び、同一方向へ向かってイソスミレを探しながら歩く方法とした。なお、北側踏査エリアのA-Bラインの外側は植林地、中央部踏査エリアC-Dラインの外側は砂採取跡と思われる湿地、およびDから南側踏査エリアのE-Fラインの外側はふみわけ道を挟んでハマナス等の背丈の高いブッシュ地となっており、イソスミレの生育は困難と思われた。F地点以南は、河畔の高茎草本群落が広く優占しており、こちらも同様の理由から踏査を行わなかった。

結果および考察

イソスミレはどの踏査エリアにおいても確認できなかった。今回の踏査エリアの北東側にもテンキグサ-コウボウムギ群落と背丈の低いハマナス群落が覆う海岸砂丘が続く。こちらの踏査も必要であるが、今回の結果から、右岸地域にイソスミレは現時点で自生しない、もしくは一時的に生育しても、個体群の維持が困難だったと考えられる。

イソスミレの種子散布や発芽特性、沿岸流の動き、右岸地域の砂丘形成の年代の影響なども含めた考察も必要であるが、ここでは結果報告のみに留めたい。

ただし、本踏査域の植物群落組成は、石狩川河口左岸砂嘴の植生とかなり類似しているため、将来的に生育が確認される可能性は否定できない。

今回の調査は、石狩浜海浜植物保護センターに関わるボランティア諸氏に呼びかけたところ、多人数の参加があった。開花期のイソスミレの識別は比較的容易であり、海浜植物保護センター観察園にも識別の見本となる株があるため、調査前に識別ポイントを確認していくことも可能である。調査後は、株の発見はできなかったものの、海岸歩きを楽しんだという声が多く出ていた。

今後は、数年に一度程度の間隔で市民参加による踏査を行うことが、新たな分布情報の収集および普及啓発の面からも効果的であると思われた。

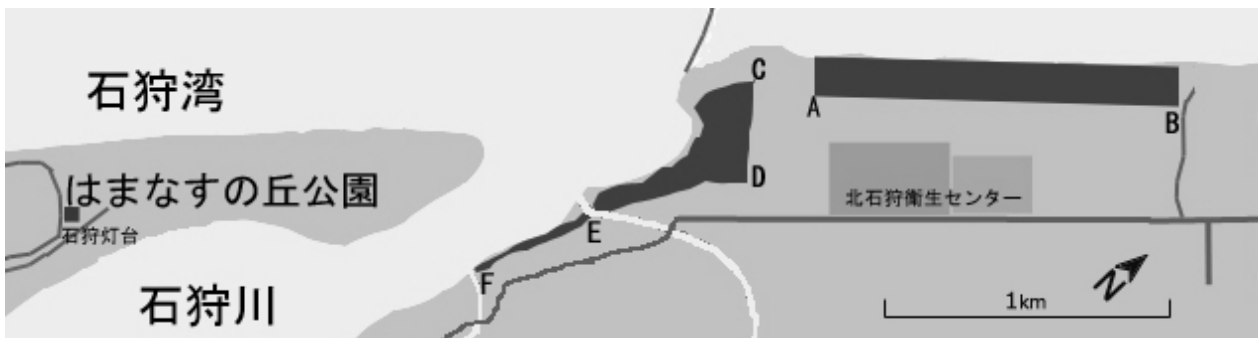


図1. 踏査エリア(黒色部)と周辺地域の概況. 各踏査エリアの境界部(A~F)の緯度経度は次の通り。

A: N43° 17' 5.40 / E141° 23' 11.96 B: N43° 16' 34.32 / E141° 22' 35.72 C: N43° 16' 31.18 / E141° 22' 26.52
D: N43° 16' 23.09 / E141° 22' 38.16 E: N43° 16' 12.25 / E141° 22' 36.05 F: N43° 15' 54.21 / E141° 22' 22.33

謝辞

本調査にあつたては下記の方々にご協力いただいた。

石井滋朗、石川祐美、江崎勇人、多田光義、種田昭夫、千喜良誠、成田一彦、若松隆、福岡順子、愛澤桃美、松山美津子、吉田文二、美頭佳範、竹田芳範、安田秀司、安田秀子（敬称略）

なお、本調査は、2018年度石狩浜海浜植物保護センター受託事業調査研究として実施した。

引用文献

五十嵐博, 2008. 北海道スミレ図鑑・まず覚えたい17

種. *faura*, 19 : 18-23.

内藤華子・寒河江洋一郎, 2014. 石狩川河口砂嘴におけるイソスミレの1989年と2012-2013年との分布比較. いしかり砂丘の風資料館紀要第4巻:31-39.

石狩町, 1976. 石狩湾新港地域海浜植生調査報告書.

石狩町, 1989. 石狩川河口地域植物調査報告書.

石狩浜海浜植物保護センター, 2009. 聚富海岸の植生概況. 石狩浜海浜植物保護センター調査研究報告, 6 : 1-63. 石狩市.

いしかり海辺ファンクラブ, 2015. 石狩川河口右岸から望来へのうみべみち. 石狩海岸フットパスパンフレット5.